

平成24年度 鴨川市教育行政評価報告書（案）

2 生涯学習の充実

| | |
|------|--|
| 基本方針 | <p>家庭や地域での子どもの体験教室やキャリア学習、生活を豊かにする地域クラブ活動などを通して、市民が趣味やスポーツなどに親しみ、様々な問題解決や自己の希望の実現に向け、いきいきと学ぶことのできる「市民一人ひとりが輝く生涯学習のまちづくり」を進めます。</p> <p>また、講師から受講者へと、一方的・固定的に学習活動を進めるのではなく、市民同士がお互い尊重し合い、教え合い、学び合う生涯学習活動の充実を図ります。</p> <p>さらに、大学との連携により学習機会の拡充を図るとともに、高齢化と若者の地域離れが進む中、市民が各地域の自然や歴史、文化などを活かし、趣味やスポーツ、地域学習などを通して、お互いに交流し、活動する魅力あるコミュニティづくりを促進します。</p> |
|------|--|

○多彩な学習活動の促進

| | |
|------------|--|
| 事業等名 | 公民館事業の充実 |
| 概要 | <p>魅力ある公民館教室の開催、サークル・クラブ活動の育成、公民館だよりの発行などにより、高齢化の進行等に伴う新たなニーズにも対応した公民館事業の充実を図ります。</p> <p>また、公民館の管理のあり方等を検討し、利便性の向上に努めます。</p> |
| 実施状況・成果と課題 | <p>【実施状況】 魅力ある公民館教室とするために、歴史の講座・趣味的な講座・ハイキング・高齢者学級・家庭教育学級など多分野にわたって実施しています。また、参加者が地域の限定なく、どの公民館の講座にも申し込みができるように配慮しています。</p> <p>主催事業 83講座(全公民館合計) 定期登録団体 191団体(全公民館合計)</p> <p>【成果と課題】 ◎参加者が希望する講座に参加できるように、その都度受講者を募ることで、新規の参加者も増えてきています。 ◎定期登録団体には、社会教育団体であることを意識づけるための団体長会議を行うことで、活動におけるモラルの向上と活動についての共通理解を図っています。</p> <p>◆年度当初に公民館の運営基本方針と重点目標を生涯学習課が定め、それに基づいて公民館は主催事業を企画する必要があります。 ◆サークル活動を継続することを働きかけるなど、自分達で運営し、自分達で学習する力を支援する必要があります。 ◆サークル利用者の減少・高齢化が進み、活動を維持できなくなりつつあるので、新規加入者の促進が必要です。</p> |

| | |
|------------|--|
| 事業等名 | 地域学習・ボランティア活動の支援 |
| 概要 | 文化施設ボランティアの活用及び育成と生涯学習ボランティア(体験活動支援)の募集を図るとともに、人材バンクとして整備し、地域学習等を支援します。 |
| 実施状況・成果と課題 | <p>【実施状況】 市民に広く親しまれる施設づくりを目指し、平成21年度から文化施設ボランティアを郷土資料館及び市立図書館に導入しています。各施設の自主事業はもとより、館内整理等でボランティアとして活動をしていただくとともに、研修などを通じてボランティアのスキルアップを図っています。</p> <p>また、昨年度から、生涯学習人材バンクの整備に取り組み、ボランティアによる市民団体の学習活動支援を推進し、市民同士が共に学びあう『人と人のつながり』を培うことに努めています。</p> <p>【成果と課題】 ◎平成24年度の文化施設ボランティアは44名の登録があり、その数は年々増加傾向にあります。このことから、各施設ともに活動内容が広がり、自主事業の多様化や、来館者数の増加など、施設の活性化につながっています。</p> <p>◎生涯学習人材バンク登録のボランティアは現在16名の登録があり、市内の小・中学校や土曜スクール、通学合宿などで、学習指導や支援が行われています。</p> <p>◆文化施設ボランティアについては、各施設のボランティア活用計画に基づき活動しています。しかし1年ごとの登録(更新)であることから、登録しやすい反面、登録人数の大幅な増加につながらない面があります。そこで、ボランティア登録者が積極的に活動へ参加できるような取り組みを図っていく必要があります。</p> <p>◆生涯学習人材バンク事業は、まだ初期の段階のため、登録ボランティアが少ない状況です。より広範囲かつ定期的な募集の呼びかけと、登録ボランティアの具体的な指導内容資料の作成など、当該人材バンクの周知を図る必要があります。</p> |

| | |
|------------|--|
| 事業等名 | 児童・生徒の体験活動事業の推進 |
| 概要 | 体験活動をする社会教育関係団体の支援、職場体験や中学校通学合宿事業など、様々な体験活動と交流学习機会の充実を図り、子どもの生きる力を育みます。 |
| 実施状況・成果と課題 | <p>【実施状況】 放課後子ども教室事業として、今まで曾呂地区で実施されていた「曾呂わくわく隊」・「西条土曜スクール」・「田原土曜スクール」に加え、平成24年度は、新たに「江見土曜スクール」・「天津小湊土曜スクール」を立ち上げました。 また、キャリア教育の一環として、市内の中学2年生全員を対象に、「職場体験学習」を実施し、将来の仕事について学習・体験する機会としています。昨年度に引き続き中学1年生を対象に、青年会議所と連携して市内3中学校それぞれで、「青少年未来プロジェクト ～情熱ハローワーク～」を実施し、地元で働く人・働くことへの理解を深め、職業選択を考えるきっかけづくりとしています。</p> <p>【成果と課題】 ◎放課後子ども教室を通して、休日の子どもの居場所や学習時間、遊び場の確保と充実を図るとともに、地域ボランティアとの交流によって、子どもたちが地域を見直したり再発見をしたりすることで、地域を愛する心が育ちつつあります。 ◎学校と地域が連携し、子どもたちが職場体験活動やボランティア活動に充実して取り組めるよう推進しています。 ◎親元を離れて自分たちで生活する通学合宿を通して、自立心や協調性を養うことにつながっています。</p> <p>◆放課後子ども教室事業を支える地域ボランティアの確保と、マンネリ化にならない体験プログラムの開発が必要となります。 ◆学校と事業所における職場体験学習の実施希望時期の調整と、5日間の長期受け入れが可能な事業所の確保について改善を図っていく予定です。 ◆通学合宿事業実施にあたっては、開催時期を市主催の行事や学校行事に配慮していく必要があります。また、健康面に関しては、学校教育活動に支障をきたさないように睡眠時間の確保等、児童の健康管理に十分配慮していく必要があります。</p> |

| | |
|------------|---|
| 事業等名 | 家庭教育の支援 |
| 概要 | 家庭教育学級の開催、家庭教育指導員による家庭教育指導や相談事業の実施をするとともに、家庭教育学級未実施地区開設準備を行い子育て学習会への支援をし、家庭の教育力の強化を図ります。 |
| 実施状況・成果と課題 | <p>【実施状況】</p> <p>家庭教育学級は、24年度中に公民館と幼稚園が連携をとり、市内全幼稚園9園で、のべ16回開催されました。また、全地区を対象とした家庭教育講演会を実施し、参加者の反応は概ね好評でした。</p> <p>家庭教育相談室は、毎週水・木・金曜日に天津小湊公民館内の相談室で委嘱された2名の家庭教育指導員が対応しています。様々な家庭教育の問題に関して、電話相談や面接相談等を受けています。24年度相談件数は、のべ152件でした。また、「母の和だより」を毎月発行し、関係者に配布しています。</p> <p>子育て学習会は、24年度中に4つの会で開催され、のべ43回でした。</p> <p>【成果と課題】</p> <p>◎家庭教育相談室に寄せられる相談が年々増え、また、幅広い年代・職種から多岐にわたる内容の相談があることから、相談室の必要性が理解され、地域に相談室が浸透してきていることがうかがえます。</p> <p>◎幼稚園保護者と公民館が積極的に活動し、さらに社会教育指導員も相談に加わることで、体験型の親子交流活動や保護者の語り合い・交流活動が多く実施されました。</p> <p>◎家庭教育学級の取り組みを他の年代層に拡充するため、オーシャンズ若潮明社と共催して家庭教育講演会を開催しました。その際、子育てサークルや幼稚園・保育園・学校の協力を得て実施したことで、子育て世代や孫育て世代の参加者が多数あり、とても好評でした。</p> <p>◆全地区での継続的で充実した内容の家庭教育学級が開催できるよう、社会教育指導員が公民館長とともに役員会に参加するなど、企画の段階から助言できるような態勢を整え取り組む必要があります。</p> |

○青少年の健全育成

| | |
|------------|--|
| 事業等名 | 啓発活動の促進 |
| 概要 | 青少年健全育成大会や青少年育成指導者研修会の開催、小・中学生による青少年健全育成に関する作文等の発表会や映画会の開催など、多様な団体との連携を強化し、青少年健全育成に関する啓発・広報活動の充実を図ります。 |
| 実施状況・成果と課題 | <p>【実施状況】</p> <p>青少年問題に対する様々な取り組みや方策を探り、地域住民の意識を高め青少年健全育成の推進を図る目的として、毎年青少年健全育成推進大会及び青少年育成指導者研修会を開催しています。青少年育成鴨川市民会議を中心とし、育成会・相談員・PTAなど各種団体の参加による研修会は、青少年健全育成に関する様々な課題に関する講話や啓発活動を行っています。</p> <p>【成果と課題】</p> <p>◎研修会参加者からは、子どもたちが夢を持てるように親として手助けをしたいなど、子どもとの接し方を見直すきっかけになったとの意見も聞かれ、少しずつではあるものの効果が現れてきています。</p> <p>◆今後は、推進大会の研修会以外にも、青少年育成指導者等を対象とする研修会の開催を検討する必要があります。</p> |

| | |
|------------|--|
| 事業等名 | 青少年育成団体活動の活性化及び地域との連携強化 |
| 概要 | <p>青少年育成団体や学校・警察連絡協議会などの組織・団体、地域住民と連携しながら、非行防止パトロール等を実施、防犯、非行防止親子映画会を開催するなど、地域が一体となった青少年の健全育成に努めます。</p> <p>また、青少年育成団体などの指導者の交流・連携を強化しながら、球技大会やウォークラリー、ジュニアリーダー講習会、小学生通学合宿、小学生などの土・日曜日の有効活用を図るための放課後子ども教室・土曜スクールなど、多彩な青少年活動の展開を促進します。</p> |
| 実施状況・成果と課題 | <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成鴨川市民会議を中心に、学校や警察の連携により年数回の防犯パトロールを実施しています。また、青少年相談員の夏季パトロールや各地区でのボランティアのパトロールも実施しています。 ・青少年育成団体の指導者の交流や連携を図りながら、球技大会や各種大会を開催しています。 ・放課後子ども教室事業として、今まで実施されていた3地区に加え、新たに「江見土曜スクール」と「天津小湊土曜スクール」を立ち上げて実施し、学年の異なる友達と一緒に、学習やさまざまな体験活動を地域のボランティアの協力のもとに行っています。 ・市内の小学5・6年生を対象とした通学合宿を実施し、子どもたちの自立心・協調性を育んだり、学力の向上を図ったりする機会としています。 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎防犯パトロールは、警察署と連携を密にした活動として実施しています。 ◎放課後子ども教室を通して、休日の子どもの居場所・学習時間・遊び場の確保と充実が図られています。また、多彩な学習や体験活動の地域ボランティアとの交流によって、子どもたちが地域を見直したり再発見したりすることで、地域を愛する心が育まれつつあります。 ◎通学合宿では、親元を離れて自分たちで生活することを通して、自立心や協調性を養ったり、地域学習を通して、自分たちの地域のよさを再確認したり、新しい発見の場となっています。 ◆今後も青少年育成鴨川市民会議を中心に警察及び各種団体との連携によりパトロールを継続していく必要があります。 ◆放課後子ども教室を支える地域ボランティアの確保と、新たな体験プログラムの開発が必要です。また、今後の地区の拡大を踏まえ、地域のコーディネーターやボランティア指導者等を探すことが課題です。 ◆通学合宿では、学校行事等との日程調整を図り、参加児童の健康面あるいは学校への負担軽減について配慮が必要となります。 |

○市民文化の振興

| | |
|------------|--|
| 事業等名 | 大学等との連携による特色ある生涯学習プログラムの充実 |
| 概要 | 市内に立地する大学関連教育研究施設と連携し、講演会や実験教室などを行います。 |
| 実施状況・成果と課題 | <p>【実施状況】 大学関連教育研究施設と連携した事業は、平成4年から城西国際大学の公開講座、平成9年からは早稲田大学による著名な教授による講演会や展示会、おもしろ科学実験教室は平成10年から開催されました。 今年度、「公開講座」では『生活と環境』をテーマに全2回の講義を実施、夏休みの一大イベントとなった「おもしろ科学実験教室」では、募集定員180名を大きく上回る373名の応募がありました。早稲田大学交流事業「講演会」では、日本におけるエジプト考古学の第一人者である近藤二郎教授を招聘し、日本ではなかなか想像できないような発掘現場でのエピソードなど、エジプト考古学の魅力についてユーモアを交えながら講演いただきました。また、東洋大学交流事業「講演会」では、日本の変動地形学の権威で同大の渡辺満久教授を講師に、「房総半島周辺の活断層と地震」をテーマに講演いただき、定員を大きく上回る市民等が聴講しました。 その他、市民が直接キャンパスを訪れ、大学が有する歴史・文化資産を見学する「東京大学キャンパスツアー」や「早稲田大学キャンパスツアー」、自然体験学習を目的とした東京大学千葉演習林での「野鳥の巣箱をかけよう!」、千葉大学海洋バイオシステム研究センターでの「磯の生き物観察会」など多彩な事業を実施し、多くの市民が参加しています。</p> <p>【成果と課題】 ◎大学の持つ知的資産や文化的資産を本市をはじめ周辺地域に積極的に還元しています。 ◎各大学が市民と交流を深めるとともに、大学への理解、市民文化の向上、生涯学習の充実に役立っています。 ◆単発的な事業が主であるため、市民のニーズを把握しながら継続的に学べる事業が求められます。 ◆公民館、図書館、郷土資料館といった社会教育施設と連携した事業を実施し、各施設の活性化を図る必要があります。</p> |

| | |
|------------|---|
| 事業等名 | 生涯学習施設の整備 |
| 概要 | 老朽化の状況に応じ、公民館などの計画的な施設の改修、修繕を行うとともに、視聴覚教材等の充実を図ります。 |
| 実施状況・成果と課題 | <p>【実施状況】 公民館・図書館や資料館の老朽化により故障箇所が増えているのが現状です。故障箇所の確認をし、利用者の安全性を配慮しながら、予算の範囲内で修繕・改修を行ってきました。なかでも旧大山小学校については公民館機能を移設する改修工事が終了し、25年度より供用開始となりました。また、視聴覚機材についての新規購入は予算の範囲内ではかできないので、現況の教材をPRしながら利用していきます。</p> <p>【成果と課題】 ◎新大山公民館が利便性の向上を目指し、地域の生涯学習の拠点として整備されました。 ◎各施設とも故障中の設備や利用者が不便をきたしている箇所については、緊急性等を考慮し優先順位をつけて修理を進めてきました。 ◆新大山公民館が供用開始し、さらなる地域の生涯学習の拠点となるよう利用促進を考えていく必要があります。 ◆今後も予算を考慮しながら、利用者の意見を聞き修繕していくことを考えています。また、視聴覚機材はパソコンの普及により、ある一定の役目は終わりましたが、需要があるため現在残っている教材・機材は利用したいと考えます。</p> |

| | |
|------------|--|
| 事業等名 | 読書・学習環境の充実 |
| 概要 | 多様な取り組みを推進するとともに、遠隔地利用者の利便性向上のため、公民館等社会教育施設との連携強化を図り、読書人口の増加に努めます。 |
| 実施状況・成果と課題 | <p>【実施状況】 図書館では各年代層に合わせた読書・学習環境の充実を目指し、子ども司書講座、ブックスタート事業、ボランティアを活用したお話会、郷土資料館との共催による子どもふるさと講座、源氏物語講座など、多種多様な主催事業を展開しています。また、館内事業として、新刊図書や時事的情報を取り入れた図書の案内、生涯学習課等関係施設での事業に合わせた図書の紹介、配架の工夫や古くなった図書のカバーのかけ直し等による環境整備を進めてきました。さらには、遠隔地利用者の利便性向上のため公民館との連携により、曾呂、大山に加え、今年度江見公民館にも分室を開設しました。3公民館に約3300冊の図書を置いて利用促進に努めています。</p> <p>【成果と課題】 ◎主催行事における参加者は昨年度に比べ23%の増、図書の貸出は15%の増との成果が見えてきました。また、公民館分室では親子での利用や公民館教室に通う方等の利用も増え、登録者数は144名、貸出冊数は1131冊になっています。現在学習や読み聞かせのできるスペースを広げたり、地域にあった資料の充実を進めています。</p> <p>◆今後館内の書棚の移動や書架増設を行う等、見やすい配架への工夫改善に努めるとともに、主催行事の内容の工夫を図っていきます。また、公民館分室については各地域住民のニーズに合った図書の配置に向け、住民の意見を聞き取りながら購入計画を進めます。新大山公民館4月オープンに向けた資料の拡充及び天津小湊公民館への図書館分室の7月開設準備を進めていきます。これらの取り組みを通して遠隔地も含めた市内読書人口の増加を図っていく必要があります。</p> |

| | |
|------------|---|
| 事業等名 | 図書資料の充実 |
| 概要 | 中高生や高齢者向け資料、郷土資料をはじめとして、図書資料等の充実を図ります。 |
| 実施状況・成果と課題 | <p>【実施状況】 どの年代層にも親しまれ利用される図書館づくりを目指して、情報の収集やニーズに鑑みた選書の工夫や館内読書環境の整備に努めてきたところですが、最も利用率の低い中高生にどうサービス提供するかが喫緊の課題となっています。中学生の読書の実態把握に向けたアンケート調査(中学2年生対象)を行った結果、読書の質に対する問題が明らかとなりました。その調査に基づき3中学校の管理職や読書担当教諭との協議を重ね、推薦する資料の充実と、新しく購入した図書の紹介や行事のPR等を進めてきました。</p> <p>また、高齢者向けには新しく出版された大活字本や朗読CDを購入、郷土資料については「ふるさと文庫」コーナーを設置し、貸出できるよう複数冊の購入や入手不可能な資料の複写製本をするなどして資料の充実に努め、貸出を推進してきました。</p> <p>【成果と課題】 ◎昨年度に比して全体の貸出冊数は15%の増、60歳代からの貸出冊数は13.4%の増と成果がみえてきました。しかしながら中高生においては、所蔵図書の冊数は増えたものの貸出冊数は微増という実態のため、さらなる方策の必要性を感じています。</p> <p>◆今後中学生の読書の質の向上を目指し、「鴨川市生涯読書推進計画」に基づきながら各中学校との協議連携を進め、図書館推薦の朝読用図書を巡回車などを利用して各学級に配本する等、計画の具体化を図っていきます。また、多くの年代層の読書人口増を目指し、公民館図書館分室への趣味本や大活字本の所蔵を増やしたり、郷土資料室の表示や配置を見直したり、整備を計画的に進めていく必要があります。</p> |

| | |
|------------|---|
| 事業等名 | 地域文化クラブ活動の促進 |
| 概要 | 市民が主体的に様々な地域文化クラブを結成し、充実したクラブライフを実現できるよう、支援の充実を図ります。 |
| 実施状況・成果と課題 | <p>【実施状況】 各文化団体の活動の成果を発表する機会として、毎年秋に鴨川市文化祭と市民音楽祭を開催しています。</p> <p>【成果と課題】 ◎文化協会の書道部門では、文化団体の書道作品だけでなく、市内小学校及び市内高校生の作品も展示、また、写真部門でも、市内の高校生の写真を展示しており、作品数が増えています。子どもたちの作品を展示することで、家族連れや高校生の見学者が定着しました。また、今年度、和太鼓等のイベントを開催したところ、来館者が増加しました。</p> <p>◎市民音楽祭では、全体合唱の中で、音楽祭実行委員が来場者に歌を指導する形をとったことで、来場者全員で一緒に楽しむという雰囲気音楽祭となりました。</p> <p>◆文化協会は、会員の高齢化により、会員数が減少しているため、各部門で個々の活動を広報に掲載してPRし、会員加入の呼びかけや積極的な周知が必要です。</p> <p>◆市民音楽祭は、年度により入場者の増減があるので、来場者に楽しんでもらえるよう、新しい試みをしていく努力が必要です。平成25年度は、第40回の節目の年であるため、記念行事を開催する予定です。</p> |

○歴史・文化の保存と活用

| | |
|------------|--|
| 事業等名 | 歴史・文化の発掘と保存・展示 |
| 概要 | 未だに明らかにされていない地域の歴史や文化の調査・保存に努めるとともに、郷土資料館や文化財センターでの展示、市史の編さんに努めます。 |
| 実施状況・成果と課題 | <p>【実施状況】 市内にはまだ明らかにされていない歴史や文化が残っている状況の中で、寺社の立入調査、古文書の解読などを所有者や地元住民の理解と協力を得ながら実施しています。その成果を「伊八」や「嶺岡牧」、ミニ収蔵展などの展示、地域ごとの歴史を記したあゆみの発刊事業に活用するなど、より多くの市民に鴨川市域の歴史や文化の重要性を理解してもらい、さらなる調査・保存に向けての理解や情報提供などに努めています。</p> <p>【成果と課題】 ◎企画展として「戦国の鴨川」展及び「鴨川の石造物100選」展を開催し、鴨川市域の知られざる歴史や身近な文化財の存在を広く内外にアピールし、多くの入館者を記録しました。また、資料館で開催した「日本画の巨匠・横山大観展」では本市所蔵の「霊峰」と横山大観記念館所蔵の4点、合計5点の作品を展示し、多くの入館者を記録しました。 ◎郷土資料館や市史編さん委員会が管理・収蔵する資料を有効に活用する意味も含めて、ミニ収蔵展を4回開催し、市内で埋もれていた歴史の再発見を進めています。 ◎あゆみシリーズ『鴨川町のあゆみ』を発刊し、現在『東条のあゆみ』の製作を進めています。 ◆市内には、埋もれている歴史資料がまだあると考えられ、近年、市民からの情報提供や、調査依頼の件数が増加しつつあります。地域の関係者や所有者との信頼関係を築くことを念頭において調査を進めることが課題となっています。さらにその調査結果をどのような形で市民に還元できるかも重要な課題となります。</p> |

| | |
|------------|--|
| 事業等名 | 歴史・文化の学習と活用 |
| 概要 | 伝統文化や文化遺産などの学習・体験機会の充実を図るとともに、郷土を愛する心の醸成や市民文化の向上のため、今後のまちづくりや観光・交流などに積極的な活用を図ります。 |
| 実施状況・成果と課題 | <p>【実施状況】 郷土資料館、市民ギャラリーでは、様々な体験講座を実施し、また、公民館、学校、ガイド養成講座などでは職員が講師となって、歴史・文化の普及に努めています。さらには、観光・商工関連団体との連絡を密にし、町づくりや観光における歴史・文化の情報提供を行っています。</p> <p>【成果と課題】 ◎一般社団法人波の伊八鴨川まちづくり塾と協力しながら活動しました。 ◎お飾り教室などの大人向け講座、子どもふるさと講座などの子ども向け講座を継続的に実施しました。 ◎小学校、公民館などへ講師を30回以上派遣し、1200人以上が講義を受けています。 ◆今後はさらに、幅広い内容に関する要望が寄せられる可能性もあるので、そのような要望に応えるために、職員の知識を深め、経験を広げることが求められます。また、豊富な人材の活用と育成にも努めることが必要となります。</p> |